

1 年間の学習成果を発表

3 月 17 日 24 年度生涯学習きっかけ作り塾を閉講

平成 24 年度の生涯学習きっかけ作り塾合同発表会・閉講式を、葦山時代劇場で行いました。38 講座による着付けやダンスなどのステージ発表や生け花の展示などを行い、昨年を上回る 380 人が来場し、さまざまなジャンルの講座を見学しました。

同塾は、生涯を通じて学び続けるための“きっかけ作り”となるため、全講座を初心者対象に毎年行っています。



安全でおいしい水の供給のため

3 月 29 日 四日町水源施設が完成

江間地区の水道水の臭気や江間水源の枯渇問題を解決するために築造された四日町水源が完成し、竣工式を行いました。

今後は、江間地区への良質な水の安定供給が確保されるとともに、施設周辺の緊急時給水拠点としても利用できる『安全でおいしい水の安定供給』の施設となります。江間地区への水の供給は、1 日 1500 トン。配管の掃除などを終え、4 月中旬に供給開始しました。

28 人の新消防団員が誕生

4 月 7 日 消防団任命式を挙行

長岡体育館で消防団任命式を挙行し、各役員の任命および辞令交付などを行いました。女性消防隊員 5 人は、難関といわれる応急手当指導員の資格を取得、認定証が交付されました。

また、新たに 28 人の団員が加入。代表者が辞令を受け取ると、緊張した面持ちで宣誓を行いました。

今年度の消防団員は約 430 名。火災などから市民の安全を守ります。



元気起爆 Radio 発進！

4 月 12 日 FM いずのくにの放送を開始

コミュニティ FM 局『FM いずのくに (87.7MHz)』の開局にともない、スタジオがある葦山時代劇場で開局記念式典を行い、地元企業など多くの関係者が集まりました。同局は地元の事業者や団体などから協力や支援を受け、この日無事に開局しました。

なお、放送は毎日朝 7 時～夜 9 時まで市内の情報を中心に皆さんへお届けしています。番組表やリクエストは FM いずのくにホームページをご覧ください。



葦山代官江川家関連資料

江川家関係写真

重要文化財に！

文化財通信

その 95 文化財の宝庫 伊豆の国②

文化振興課 文化財係
☎ 055-949-8609

2 月 27 日に行われた国の文化審議会で、『葦山代官江川家関連資料』および『江川家関係写真』を、重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申しました。今後、事務手続きを経て正式に指定されます。

多くの収蔵品の中でも、とくに重要な 38,581 点が一括して重要文化財に指定されます。これらは、江川家の歴史はもとより、幕府代官の職務や支配の実態を知るうえで貴重な基礎資料になります。加えて、江戸時代後期から幕末維新期の資料の中には、日本の政治・軍事・外交史研究上、非常に重要なものが含まれています。

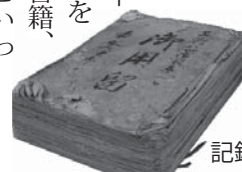


モルチール砲模型



江川坦庵自画像

江川文庫には、江川家から引き継がれた中世以来の膨大な資料が保管されています。平成 14 年度から総合調査を行った結果、古文書や書籍、書画、焼き物、武器といった多岐にわたる重要な資料が保存されていることが明らかになりました。特に、幕末、諸外国からの開国圧力が強まる中で収集され、使用された文書や洋書・訳書、図面、鉄砲・台場の模型、測量器具などは、江川家が積極的に海防や西洋技術の導入に取り組んでいたことを示しています。



記録が鮮明な御用留

これら写真群は、撮影の経緯や場所などが古文書などから確認できることが大きな特徴です。指定される理由 日本写真史を明らかにするうえで、不可欠な資料のため重要文化財に指定されます。



日時が明記されているのが特徴
38代当主江川英武
下岡達枝撮影



37代当主江川英敏
ジョン・万次郎撮影

江川文庫には、江戸時代から昭和初年度ごろまでに撮影された写真多数が保存されています。中でも特に貴重な明治時代前半までの 461 点が重要文化財に指定されます。一番古い一群は、中浜万次郎 (ジョン・万次郎) が撮影したもの。ジョン・万次郎は遣米使節団の一員として派遣された際、写真機を購入して帰国。江川家の江戸屋敷で数多くの写真を撮りました。

ところ 伊豆の国市葦山葦山 1
☎ 055(940)2200

開館時間 9 時～16 時 30 分
(水曜は 9 時 30 分～15 時)

休館日 12 月 31 日・1 月 1 日

入場料 一般 300 円、小中高生 150 円 (団体割引あり)

※管理・保存の都合により、公開していない文化財もあります。

行って来い！
江川邸

詳細は『江川文庫』または市役所のホームページで確認を。

